

学友会東京支部だより

南高

発行 和歌山県立南部高等学校
学友会東京支部
事務局 〒363-0022
埼玉県桶川市若宮1丁目
8番12-204

第6回南高学友会東京支部総会開催



昨年6月1日、第6回南高学友会東京支部総会がグランドプリンスホテル新高輪「平安の間」に於いて開催され、参加者はご来賓と昭和26年～平成2年までの卒業生で、総勢42名。母校と大阪支部からは、尾花敦教頭先生・森下信夫事務局長がご列席下さいました。

総会は稲井清子さんの司会により開会し、寺西支部長の挨拶に続き、尾花教頭先生にはご挨拶と「母校の活動」を映像で紹介して頂きました。

議案審議では第5期支部活動報告から第6期役員選出までの5議案が提案通り承認され、新役員を代表して山崎春樹事務局長の挨拶で東京支部第6期がスタートしました。

懇親会での司会は三本陽子さん、乾杯は森下事務局長のご発声で始まり、食事・歓談の間は、歌自慢の方々のカラオケや、「みなべ弁」での掛け合い応答・披露、ビンゴゲーム等々を織り込んでの、瞬く間に過ぎた楽しい3時間でした。何といっても、懇親会の締めくくりは全員での校歌です。このときばかりは誰もが一気に「あの頃」に還ることができます。懐かしい「♪雲新しく・・・」を、岡村茂子さんのピアノ伴奏にあわせて力強く高らかに合唱し、互いの健康を願い、再会を約束して無事閉会しました。

(事務局 記)

※審議承認事項は12ページに掲載

等々力溪谷・野毛大塚古墳・五島美術館庭園 散策

2013年11月16日(土)



◎散策コース

等々力駅前(集合 10:00)⇒等々力溪谷入口(記念写真)⇒等々力溪谷
⇒等々力公園(記念写真)⇒等々力不動尊⇒ざいもく家(昼食)
⇒野毛大塚古墳⇒五島美術館庭園⇒上野毛駅前(16:00 帰途)

等々力溪谷は東京23区内の都心にありながらまるで別世界のような静けさと、緑あふれる都内随一の溪谷公園として2～3月は梅・4月は桜・5月は新緑・夏は納涼スポット・秋はイロハモミジが紅く色づき、四季折々の多彩な表情を楽しむことのできる公園です。

等々力溪谷入口の案内板の前で遅れてくると連絡があった1人を除き18名で集合写真を撮り、階段を下り溪谷へ。紅葉にはチョット早く、うっそうとした深緑の木々が溪谷をおおい、ヒンヤリした空気が漂う。谷沢川の流れの音を聞きながら所々ぬかるんだ川沿いの遊歩道を歩き、見晴らしの良い等々力公園へ。遅れてきた人が揃い全員集合!青空の下、芝生の上で19名が集合写真を撮り、等々力不動尊へ。七五三のお参りにきていた家族連れが記念写真を撮っていた。綺麗なベベを着た嬉しそうな子供さん。子供さんを見つめるお父さんとお母さんの優しい微笑が印象的だった。

昼食時間となり、予約していた「ざいもく家」

へ。ここは庭園のある落ちついたたたずまいのお店。以前



は少々値の張る和食屋さんだったそうだが中華屋さんに…。店構えにしては手頃な価格。料理が並ぶ前に自己紹介。土・日・祭日限定のランチ、中華御膳をいただきながら談笑。ボリュームもあり美味しくいただく。

お腹が落ち着いたところで野毛大塚古墳へ。この古墳は全長82m 直径66m 高さ11mの円墳に小さな前方部がついた帆立貝式古墳として日本国内でも有数の規模を誇る古墳。多種多様の大量の副葬品が出土。頂上には副葬品の様子が見えるプレートが設置されていて古代に想いを……。

天保年間に編纂された「新編武蔵風土記」によると頂上から富士山・品川沖・安房・上総(現在の千葉県)まで望む絶景の地だったそうだが、今は高いビルや住宅が立て込み、その面影はナシ。

野毛大塚古墳を後にし、閑静な住宅街を抜け五島美術館庭園へ。この美術館は建築家吉田五十八

3ページへ



ウォーキングに参加して

昭和42年卒 鈴木 一郎 (東京都板橋区 在住)



11月16日の等々力溪谷、野毛大塚古墳、五島美術館のウォーキングに参加させていただきました。

南部中学を卒業後田辺工業高校に進学。卒業と同時に就職の為に東京に出て来ました。

当時は周りに知り合いもなく寂しい思いをしましたが、3ヵ月くらいで慣れてきたように思います。その後南部中学の同窓会三九会が出来、故郷の人たちと出会えることになりました、南高学友会にはこの三九会のメンバーの山寄さんや灘井さんに紹介いただきました。

ここ二十数年は自営業で仕事中心でしたので旅行やハイキングなどはあまり行く機会がありませんでした。東京暮らしが長い割には行ったことがないところばかりです。

結婚して世田谷区の奥沢に八年くらい住んでいましたが、今回行った等々力溪谷はすぐ近くなのに行ったことがありませんでした。いつでも行けると思いながらそのままになっていました。この機会をいただき大変うれしく思います。等々力溪谷と言えばテレビ神奈川が開局して間も

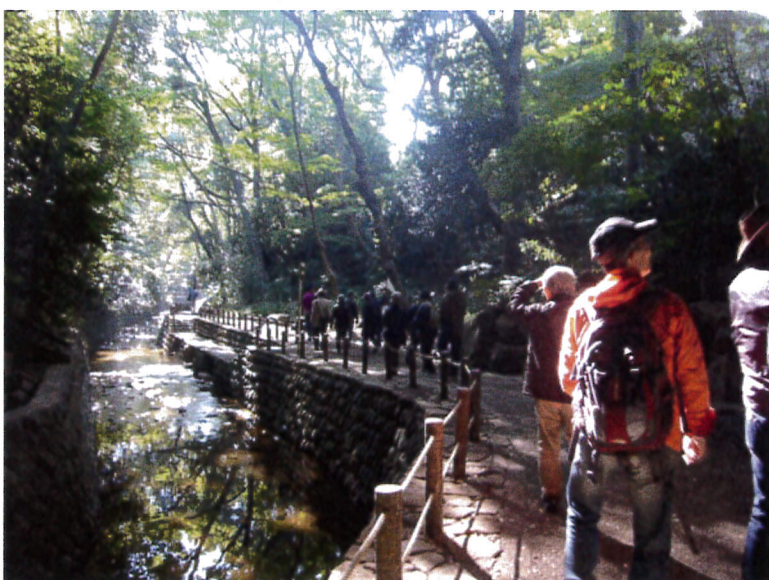
なかったと思いますが、溪谷に流れる谷沢川のせせらぎを延々放送していたことを記憶しています。

東京にもこんな静かで、のどかな、目黒通りや環八の車の音も聞こえず、ゆったりした空間があることは素晴らしかったです。日々の喧騒を忘れ、心の休養をした思いです。

今回はまだ紅葉にはなっていませんでしたが、さぞかしきれいな風景になるのではないかと思います。夏は涼しそうですし、また機会があったら行ってみたい場所です。

野毛大塚古墳は全く知りませんでした。五島美術館は庭園の散策だけでしたが、小高い山といった佇まいで、結構アップダウンがあり、一回りした後には足腰にこたえました。普段の運動不足を実感した一日でした。前回、谷中のウォーキングにも参加させていただきましたが、たまのウォーキングは良いものです。

今回のウォーキングも楽しいひと時でした、また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。有難うございました。



氏が設計した数奇屋寝殿造りで、所蔵品は日本・東洋の古美術を中心に国宝5件、重要文化財50件を含む約5,000件に上る品が収蔵されていて、訪れた時は「桃山の古典 - 光悦」が催されていたが、私たちは光悦展を横目に見て庭園へ。約6,000坪の広大な敷地内にあるこの庭園は平面の庭園ではなく、雑木林の台地が多摩川に向かって深く傾斜

する場所にあり、庭園めぐりの下りて上る小路は膝や足・腰にこたえた方がいたのでは。

庭を見終わって、美術館前で寺西支部長の挨拶があり、駅近くの喫茶店でお茶を飲み、一休み後、上野毛駅より帰途に。ふるさと言葉での散策は如何でしたか…？ お疲れさんでした。

ふるさとからの友より

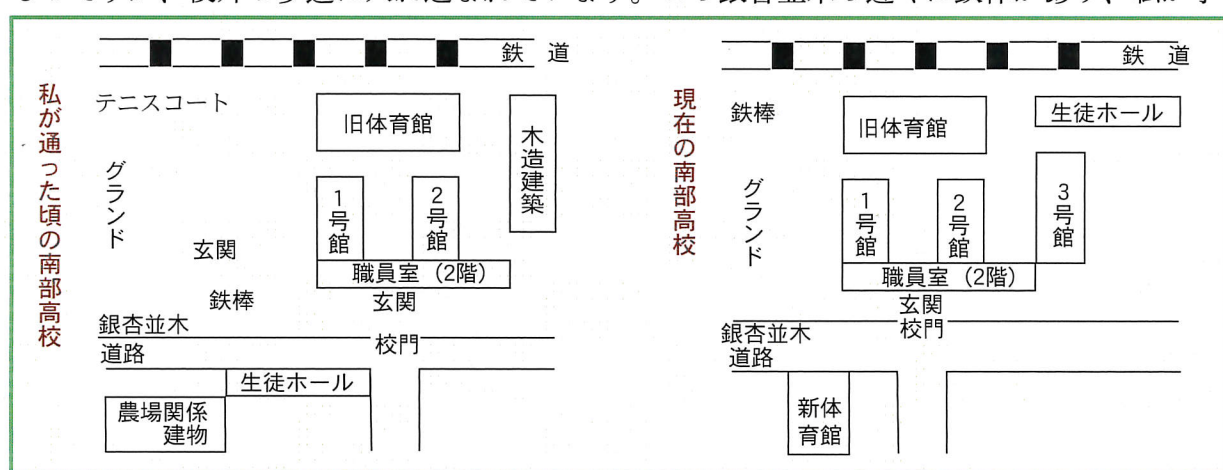
昭和 50 年卒 泰地 孝紀 (みなべ町 在住)

○南部高校に初めて赴任したときに感じたこと

私は南部高校に昭和 47 年に入学しました。教師になったのですが、どういうわけか今まですべて他校で教鞭をとってきました。このまま他校で教師をするのも残念で、どうしても母校で教鞭を取りたいという強い思いを持っていました。その思いが通じたのか、卒業後 37 年ぶりに母校に赴任することになりました。赴任した日に、校内のあちらこちらを見て回りました。1 号館・2 号館・職員室や旧体育館が以前のまま残っており、大変なつかしい思いをし、過去の思い出に心を巡らせました。最初の頃は、高校時代 1 号館の教室で授業を受けたので、その痕跡がなにか残ってないだろうかと思い、授業に行ったときに教室を注意深く見回したりしました。当然のことながらその痕跡は残っていませんでした。自分が受けた教室で、今、後輩たちが授業を受けている姿を見ながら、あの多感な頃であった自分と重ね合わせて、この生徒たちも時代は異なりますが自分と同じようなことを考えているのだろうか、思いを巡らせました。

今の新体育館にあった以前の生徒ホールは線路側に移転されており、道沿いにあった校内の銀杏並木も残ってはいるのですが、校外の歩道に入れ込まれています。この銀杏並木の近くに鉄棒があり、私が学生

の頃には、蹴上がりが体育の単位認定の必須条件でした。体育が苦手であったため放課後遅くまで残って、その練習をしたのを覚えています。



ます。今その鉄棒は当時テニスコートがあったグラウンドの線路側に移転されており、時代の流れを感じさせられました。

なお、農場関係の建物は現在は線路の北側にあります。寄宿舍は以前グラウンドの横の南部駅側にありましたが、そこは駐車場に変わっており、テニスコートの横にあります。また、私は岩代からの汽車通学（汽車の窓を開けると風向きによっては石炭の煙が入ってきました。）だったので、駅から高校へ通った道も懐かしく、昔を思い出しながら通りました。校舎へはグラウンド内のテニスコート側を歩いて通ったのを覚えています。今はその通り抜けはできなく、正門と裏門しか校舎内に入ることができません。

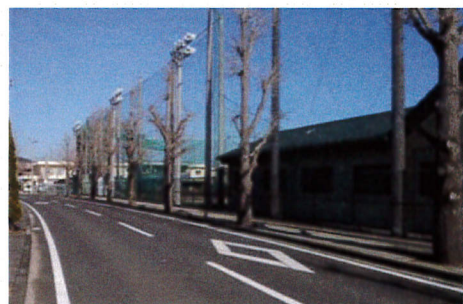
寄宿舍跡



現在の寄宿舍



南部駅からの通学路



銀杏並木のいま

○校歌について

新任式で初めて校歌を聞いたときに、懐かしさと感動を覚えました。時代は流れ、建物も変わってきているのですが、校歌だけは昔と変わらずに歌われています。学生当時は校歌についてなんとも思わなかったのですが、高校を卒業して何年も経ってから校歌を聞くとこんなにも心に感動を覚えるものかと思う感じが、これが校歌の素晴らしさだなと思いました。



○赴任してからの南部高校

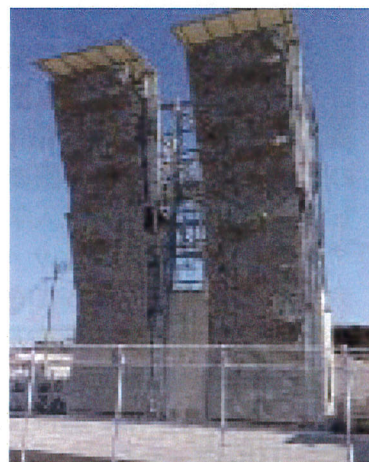
さて、私が赴任してから3年が経とうとしています。その間にも少しずついろいろなことが変わってきています。

➡木造の生物教室等があった所が鉄筋の4階建ての3号館（昭和54～55年に建立）に、そこが、昨年・一昨年で耐震工事があり、たいへんきれいな3号館になりました。



◀一昨年テニスコートもオムニコート（全天候型砂入り人工芝）になり、公式試合と同じ種類のコートで練習ができるようになりました。

➡平成27年に和歌山国体があります。ボルダリングの施設が正門から見て北東の敷地内にでき、その会場になります。



◀今年は創立110年目にあたり、新入学生より制服が新しくなります。

私たちの頃は、男子は詰襟の学生服で、女子は夏服はセーラー服・冬服は黒のダブルのブレザーでした。その後、紺のブレザーに男子がグレーのズボン、女子がグレーのスカートになり、20年程続き、今回の制服改定となりました。

↓南部駅前にロータリー（平成19年完成）ができ、プランターを110個設置。そこに生徒が作った季節の花を植え、生徒たちは冬場は3日に1回、夏場は1日2回の水やりをして世話をしています。四季折々の花々が南部駅を利用している人の心を潤しています。

平成26年度入学生からの制服
（黒を基調としている）



南部駅前（ロータリーになっている）



ロータリーの植栽
（縁石上にプランター）



南部駅から海岸に向かって
（プランターが並ぶ）

私が本校に来てからのほんの少しの期間にも、少しずつ建物等の変容があります。ふるさとに帰られたときには、ぜひ南部高校にお立ち寄りください。



これから期待する生活

「半農半Xと農業に取り組む」

昭和46年卒 森下 武子（東京都新宿区 在住）

今年の3月に東京農業大学大学院農学研究科農業経済学専攻の博士課程後期を卒業する見込みである。研究テーマは農産物直売所であり、農業生産者が収入を増やし、農産物の販売や加工、さらには農家レストランなどに事業展開して農産物の付加価値をつけて販売する拠点として関心を持った。卒業後は、東京と田舎を行き来しつつ半農半Xで食料をできるだけ自給する生活を送ることが夢である。また仕事はビジネスだけでなく、ボランティア精神との両面のスタンスで、農業生産者が儲かるためにどのように農業に取り組み販売していくのが良いか、直売所の運営改善を支援したり自ら実践したりしていくか、具体的な計画はこれから立てていく予定である。



それにしても私が農業に関わることになるとは7～8年前には夢にも思っていなかったが、考えてみると卒業した南部高校は農業科や園芸科もある総合高校であったし、農業とは不思議な御縁があったといえる。そもそも私が農業に関心を持ったきっかけは、子供がアトピーであったため食生活を改善しようと無農薬や減農薬野菜を購入して、添加物もできるだけ少なくして食事を作り始めたことが最初であった。その後、練馬区の市民農園の一角を借りて指導を受けながら野菜作りを始めた。無農薬の新鮮な野菜は美味しかった。東京農大に入学して野菜作りは一時休止していたが、今年から又再開したいと考えている。

私の仕事は経営コンサルタントであり、企業の事業戦略やマーケティング戦略の策定などのコンサルティングを長らく行ってきた。そうした仕事の経験から、これからの日本の成長産業は製造業から医療・教育などのサービス業や農業などの一次産業に重点が移るだろうと思われた。とりわけ農業は成長のポテンシャルを持っており、優秀な人材が流入して創意工夫をしていけば、工場に替り、地方の産業発展の中核になっていくと期待できる。しかも半農半Xの自給者が増える一方、農業の事業化も盛んになれば、食料自給率も高まり、将来の食糧危機にも備え、景観や国土の保全、人口の地方分散を図るだけでなく、地産地消を進めて私達の健康も維持される。

そういう観点から、息子には農業に取り組んでももらいたいと考えて東京農大への進学を勧め、私も入学式に列席して東京農大キャンパスの緑の多さも気に入り、大学院への進学を決めた。農業に取り組むには、農業について学ぶとともに農業生産者や関連の人々との人脈も必要と考えたからである。今年は息子も大学を卒業して、新規就農に向けて研修のために茨城県の有機野菜栽培の農業生産法人に就職した。私も農産物をどう販売して採算を確保していくのか、どう付加価値をつけていくのかを考えて、農業に取り組んでいきたい。





「黄金漬」を絹のような道南産の真昆布で
つつんだ豊かで贅沢な梅干です。

梅をつつむ贅
福つみ

※限定商品につき、販売していない時期もあります。



元祖はちみつ梅
こがねづけ
黄ハミ漬
選りすぐりの紀州南高梅とはちみつが
醸したす、まるやかで上品な梅干です。

通信販売カタログ・商品のお問合せ、お求めは

フリーダイヤル 0120-197-832 FAX 0120-319-515

受付時間 平日/午前8時～午後6時 土曜/午前8時～午後5時

FAXおよびホームページでは24時間、受け付けております。

株式会社井グチ 〒645-0027 和歌山県日高郡みなべ町西本1224 <http://www.ume1.com/> 井口食品工業株式会社

マジックは感動の世界



昭和 40 年卒 富士 六郎 (大阪府阪南市 在住)

“なぜ？なぜ？どうしてそうなるの？”マジックはイリュージョン（錯覚幻想）の世界に連れていってくれます。観客を驚かせ、楽しませ、感動させます。感動があれば、人生は面白く豊かになります。

マジックを始めたのは、福祉の手伝いの中、子供に喜んでもらおうと思ったからです。今は、マジックの道具を作ったり、いかにすれば人を驚かせることができるかを考えたりして、マジック自体が楽しみになりました。“なんでこんなことが…”自分が感動したことを他の人にもと、子供会・老人会等でマジックを見ていただいています。

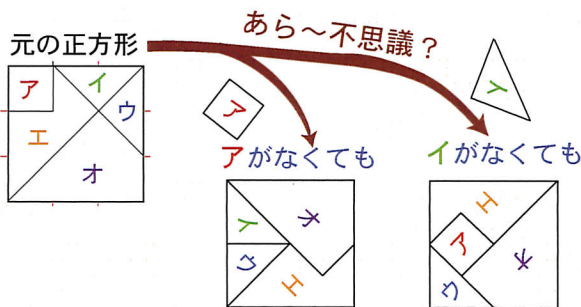
びっくりさせ楽しませるためには、技術だけでなく演出方法も大切です。何度も何度も練習しなければ出来ないものもあり、手順を一つ間違えるとマジックになりません。

私の得意なのは、ロープを使ったマジックです。特に3本のロープ（長い、中位の、短いの）をつかって、始めに3本を同じ長さに、次に2本のロープを結んで、結び目を消して1本に、3段目には長・中の2本のロープを同じ長さに、最後に、そのロープを長い1本のロープへと連続して見せるものです。

今回、ご案内するのは簡単にできるものです。菓子箱などの厚紙を利用して遊べるマジックを紹介します。次のように、厚紙に正方形を描き、切って並べ替えるだけで、不思議なことが起こります！図を拡大して試してみたいはいかが？



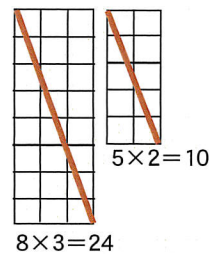
【1】正方形のひみつ発見？



※ イがなくても正方形になるのは、偶然私が発見しました。

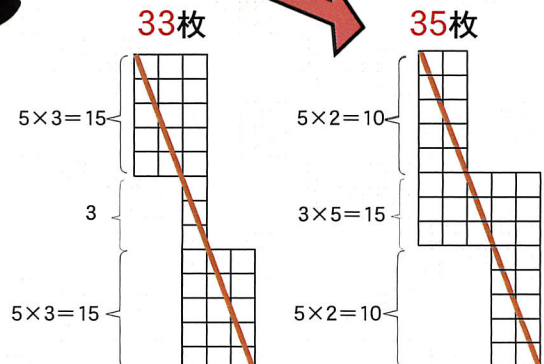
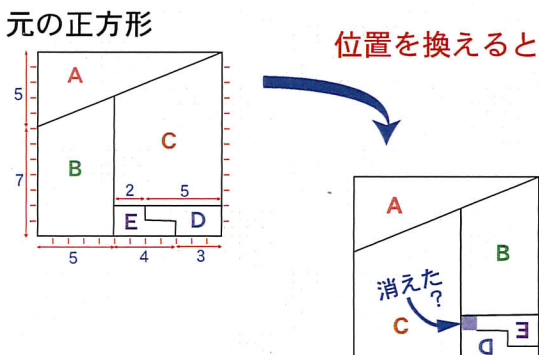
【3】タイルが増えたり減ったり？

元は34枚



え！置きを換えただけで？

【2】1片はどこかに消える？



我が青春の山

川口 光雄 (千葉県柏市 在住)

「ヤッホー！」と山頂で雄叫ぶ気持ちのよいことよ！
きつい山を苦勞して自分の足で登り切ったと云う
達成感は何とも言えません。



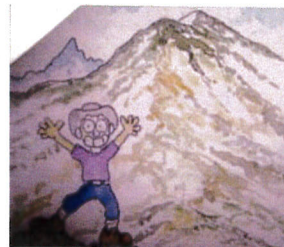
これから行く槍ヶ岳を背に西岳山頂で

私が山好きになっ
たのは、24年前の40歳を
過ぎた頃です。会社の同僚と憧
れの尾瀬に行き
燧ヶ岳^{ひうち}に登って
からです。水芭蕉等の花の美し

さ、新緑の木々、
高山ならではの植物、鳥のさえずり、ともあれ、
山頂での雄大な山岳展望に人生が変わりました。
同僚の一人に、「山をやりませんか？」と勧められ、
その気になり意欲が湧いてきたのです。

低山ハイクをしながら山関連の本を読んでいる内に「日本百名山」を知り、「よし これをやろう！」と決心しました。しかし、アルプスの経験も技術もないので、不安でした。先輩曰く「技術はあとからついてきますよ」の言葉に励まされ、見よう見真似で挑戦しました。せっかちな性格は熱血快男児となって、6年間で完登しました。その間、山の会にも入り、今もずうっと仲間との山行もあります。しかし、私の山行は、色々と目標を持ってやっていますので、山行数は多く、8割位は単独行です。人よりちょっとだけ速く登れます。和歌山生まれなので、紀州の小天狗とまでは行きませんが、コースタイムの8割で歩きます。これを自称「痛快青春登山」と呼び、常に「青春魂」を持って歩いています。その後も目標を持って全国の山に登り続けています。

ところで、登山は自然が相手でルールのないスポーツです。格闘技であっても審判がいますので安心ですが、山は重登山であれ軽登山であれ、自然のちょっとしたいたずらは人に大きなダメージを与えます。(苦い経験もあります。)自然とうまくつき合うには、先輩方の経験を自分のものとして訓練を重ね、技術をみがき、決しておごることなく自然に親しむことが大切です。健康的な登山は、自分自身の状況に合わせ、計画によっては、70才でも80才でも楽しめるスポーツです。山は私にとって清新の泉です。人生は山と人との出会いでより楽しくなります。サムエルウルマンの詩にある「青春」を忘れず、新たな「ロマン」を求めて……感謝。



北ア鷲羽岳を背にヤッホー！

◇主な足跡

(達成年 山名 所)

- 日本百名山 (1995年 光岳 静岡)
- 日本三百名山 (2002年 ペテガリ岳 北海道)
- 関西百名山 (2001年 鳥帽子岳 和歌山)
- 関東百名山 (2013年 矢上山 東京)
- 生涯5千座越え (2013年末 現在 4010座)

◇山以外 (もう走れませんが…)

- 南部梅マラソン (10K 君原健二と)
- 手賀沼エコマラソン (21K 高橋尚子と)
- 長谷川カップ (72K 山岳レース)
- 四国八十八ヶ所 (2003年 結願) -----

◇各目標達成の小冊子あります。興味ある方には貸し出します。



伝統の製法を守りながら
漬けた梅干が「くめ」なのです。



紀州でまりのように丸くてやわらかい梅一粒を
大事に大切に心を込めてつつみました。

まりおとめ
毬乙梅



井上梅干食品株式会社

〒645 0012 和歌山県日高郡みなべ町山内1095 1

TEL 0120-01-2730 FAX 0120-04-2412

本社 0739-72-2730 千里売店 0739-72-5223
みなべ売店 0739-72-5566 東京銀座店 03-6274-6033
ホームページ: <http://www.kumaheino.co.jp/>

母の思い出

平成26年2月15日、生家の母（キミ）の七回忌である。

私は、幼少より厳しかった母とは喧嘩ばかりで、父（日出雄）が大好きであった。その母のことを近頃頗る尊敬の念に変わっていくのはどうしてだろうか。

二つ違いの6人兄弟の長兄（喜久雄）、末っ子に春樹、長女として育った私は、いつも「お姉さんだから」とばかりに厳しく育てられました。朝は登校前に廊下ふき、盆・正月用意、大掃除など率先して手伝いました。帰校すれば、お稽古事に忙しく、特に、2才下の妹（素子）が、血の出る程ピアノを頑張っていたので、自ずと私たちも遊んではいけないのです。母は教育にかけては南部の先駆者的な存在だったと思います。

妹は中学より東京へ出、私は南中より日高高校へと進み、当時花嫁学校ナンバーワンといわれた青短を卒業するや否や、伯母たちの勧める7人兄弟の三男坊の銀行員と21才で結婚。3人の子宝にも恵まれました。（のち田舎の旧家の後継ぎとなる）

和歌山県日高川町

森 育子（旧姓 山嵯）

足太く生家を守るは露の母

育子

その時の母の言葉“檀那し檀那し言うても百年も持つかどうかわからんよ。女の子でも何か手に付けとかなあかんよ。”私はぼんやり耳に残っていました。子供たちには、嫌われながら、長女・次女には楽器を、三女には英語を身に付けさせ、実母と同じレールをつっ走って来ました。しっかりした舅の愚痴をこぼしたところで何一つ聞入れてくれません。反面、姑は貴女のすることは全部良いと大事にしてくれました。

婚家の両親を見送り、どうやら3人の娘も嫁いで行きました。45年間連れ添うた夫は3ヶ月の病でこの世を去ってしまいました。

その四十九日の法要を済ませた翌日のことでした。南部の兄嫁より「母がもう何も食べたくない！！入院もしない！！と言い出したから見に来て。」走りました。まだモノも言えなし、「また明日から毎日見に来るわ」とその夜帰宅。

その翌朝早くに「お母様が亡くなりました。」びっくり仰天。親族中がうらやましがるこの潔さ。89才でした。母らしいなあと思いました。

「南高」歌壇・俳壇コーナー

つれづれなるままに

宮本

双葉

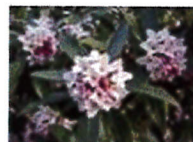
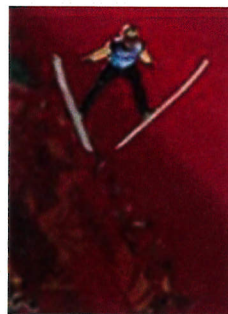
（千葉県四街道市在住）

ソチ冬季五輪と関東の大雪

平成二十六年二月

大雪や庭に埋もる沈丁花

ソチの白銀レジェンドの翔ぶ



雪だるまお椀の瞳輝けり

一生一代爺婆の作

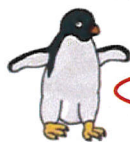


二月八日からの日本列島を襲った大雪は、南関東四街道市でも、積雪は三〇センチ以上にも及ぶ記録的なものでした。南国紀州育ちで千葉に住む私達夫婦にとっては、久方ぶりの雪かき作業でした。

庭の沈丁花の雪かきに始まり、妻の発案で雪だるま作りに挑戦しました。写真の雪だるまの皆さんの感想は、お椀のお目目が好評でした。

沈丁花の花言葉はよく知らなかったのですが、沈丁花の雪かきをしながら、ふと、競技の勝者に与えられる月桂冠にこの咲き初めた沈丁花はピッタリ適合すると感じました。

そこで花言葉を調べてみたところ、「栄光」「永遠」「不滅」で、レジェンド・葛西選手にピッタリ適合しているではありませんか。我ながら驚きでした。



山 嵯 春 樹 さん が 受 賞 !!



山嵯さん（S 42 卒）は昨年（2013 年）9 月
に日本金属学会から「技術・開発賞」を受賞し



ました。

この賞は金
属関連の製品
で世界的に価
値のある製品
を開発した人
に贈られるも
のです。

対象となっ
たのは、高い温
度を測る温度
計の耐久性を

大幅に改良した製品の開発です。

高温（800 度～1700 度）を測る熱電対（ネッ
デンツィ）型の温度計（以下熱電対と記す）で
耐久性を上げた製品を作り、その功績が認めら
れたのです。

一般的に、熱電対は電気炉等の温度の測定に
使われます。高温で使われるためにセンサー部
分の金属内部の結晶粒が成長し、長く使ってい
ると切れることが多く、生産現場では製品の品
質に重大な影響を及ぼします。また炉に設置さ
れた熱電対の交換に多額の費用と手間もかかり
ます。壊れて温度が測定出来なくなり大きな災
害を起こすこともあり、多くの企業で困ってい
ました。

山嵯さんは、長年の研究でこの温度計の高温
強度を 10 倍にすることに成功したのです。

強度が 10 倍になると計算上寿命は 10,000 倍にな
ります。実質「切れない」熱電対です。

熱電対は 2 つの金属をつないだものをセンサー
として使います。この原理は 2 つの金属をつなぎ、
その 2 つの接点に温度差をつけると電気が流れる
現象があります（ゼーベック効果といいます）。こ
の温度差を発生する起電力の大きさを測り温度計
として使うものです。

熱電対には銅やタングステンを使ったものなど
色々な種類がありますが、一般的に高温では安定
性のある純度の高い白金（99.999%）をマイナス
極に使い、プラス極にロジウム 13% の合金を使っ
たものが多く使われます。

白金に他の元素を入れると強くなることは知ら
れていましたが、他の元素を入れると強くはなり
ませんが、白金の純度が下がり、起電力も下がり温
度計の役割をしなくなります。

山嵯さんの発明のポイントは、マイナス極に用
いる白金にジルコニアという硬く大きさがサブミ
クロンの微細ジルコニウムの酸化物を分散するこ
とで、起電力を下げることなく、不可能と言われ
た白金の強度を 10 倍に上げることに成功したの
です。実質「切れない」熱電対の誕生です。

山嵯さんの中に流れる「あがら」紀州人の粘り
強い精神が、不可能に挑戦して成果を出したのだ
と思います。高価な白金、薔薇色の高価なロジウ
ム、微細なジルコニア大変高価な研究です。

山嵯さんのこれからのなお一層の活躍に期待し
ます。

（堅田十三生 記）

青い海に抱かれた

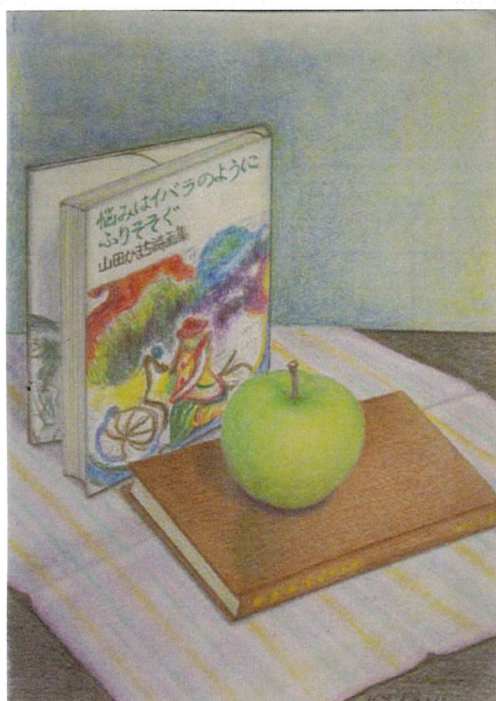
日本一の「南高梅」の里



〒645-0004 和歌山県日高郡みなべ町壱田1540

TEL **0739-72-3939** (代表)

<http://www.kishuji-minabe.jp/>



想いで



秋



石神井公園



モネの庭のように

今回は小西早苗さんにご出品いただきました。



小西早苗さん（旧姓 濱田 S34 年卒）は 2005 年（平成 17 年）から色鉛筆画を学ばれています。

春の散策のお知らせ

都電荒川線に乗って沿線の名所・旧跡を訪ねます。



早稲田 → 鬼子母神 → 雑司ヶ谷霊園（漱石、荷風・・・） → どんひやら村 → 飛鳥山公園（徳川吉宗由来の地、桜の名所） → 旧古河庭園 → 荒川車庫（鉄道ファンのスポット） → あらかわ遊園 → 三ノ輪橋

5 月下旬か 6 月上旬を予定！ 皆様の参加、お待ちしております。



1. 第5期決算報告書 (平成23年10月～25年3月)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	244,367	総会懇親会費	508,277
当期賛助会費	364,000	役員会議費	47,233
賛助会費預り分	10,000	広報会議費	6,540
総会懇親会費	400,000	会報発行費	79,800
ご祝儀・寄付他	22,000	事務用品費	28,193
広告掲載料受入	20,000	通 信 費	103,205
本部支援金	30,000	慶弔見舞金	13,790
受取利息	6	雑 費	59,024
		次期繰越金	244,311
合 計	1,090,373	合 計	1,090,373

前期繰越金に当期分賛助会費 16,000 円 (8 名) を含む

2. 第6期予算書 (平成25年4月～27年3月)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	244,311	総会懇親会費	500,000
当期賛助会費	400,000	役員会議費	90,000
賛助会費預り分		広報会議費	30,000
総会懇親会費	360,000	会報発行費	80,000
ご祝儀・寄付他		事務用品費	50,000
広告掲載料受入	30,000	通 信 費	100,000
本部支援金	30,000	慶弔見舞金	20,000
受取利息		雑 費	60,000
		次期繰越金	134,311
合 計	1,064,311	合 計	1,064,311

収入の部		支出の部	
前期繰越金	244,311	総会懇親会費	500,000
当期賛助会費	400,000	役員会議費	90,000
賛助会費預り分		広報会議費	30,000
総会懇親会費	360,000	会報発行費	80,000
ご祝儀・寄付他		事務用品費	50,000
広告掲載料受入	30,000	通 信 費	100,000
本部支援金	30,000	慶弔見舞金	20,000
受取利息		雑 費	60,000
		次期繰越金	134,311
合 計	1,064,311	合 計	1,064,311

第六期 新役員紹介

支 部 長

寺西寛志
(昭和33年卒)

副支部長

木村允彦
(昭和38年卒)

顧 問

柳本茂樹
(昭和28年卒)

同

浜田好通
(昭和28年卒)

同

前田至美
(昭和29年卒)

同

石田明子
(昭和31年卒)

事務局長

山寄春樹
(昭和42年卒)

庶 務

灘井新一
(昭和42年卒)

同

稲井清子
(昭和38年卒)

同

齋藤文子
(昭和40年卒)

会 計

堅田 仁
(平成2年卒)

同

三本陽子
(昭和45年卒)

幹 事

宮本双葉
(昭和30年卒)

同

小西早苗
(昭和34年卒)

同

岩本佳子
(昭和36年卒)

同

宮下典子
(昭和38年卒)

会計監査

岩本喜直
(昭和34年卒)

同 (新)

松山太郎
(昭和38年卒)

※退任

林 忠雄
(昭和28年卒)

顧問

事務局

から

ご寄付 ありがとうございます。

奈古 一雄 三前 淳
岡村 茂子 池田 素子
大原 弘子 坂本 龍 (*敬称略)

上記の方々からご寄付をいただきました。
心よりお礼申し上げます。
会のために有効に運用させていただきます。

☆訃報☆

学友会東京支部前役員 林 忠雄さんが
役員退任後の昨年11月、逝去されました。
平成15年の支部発足以来、東京支部のために多大なお力添えを戴きました。
心より感謝申し上げますとともに、
謹んでご冥福をお祈りいたします。

合掌

編集後記

昨年から事務局を任されましたが、パソコンが不得手で家内に叱られながら、何とかウオーキングや役員会案内の発送をぎこちなく進めてきました。そんな中、本年最初の役員会の集まりには突然の流行性胃腸炎(ノロウイルス?)に取り憑かれ、敢え無くダウンで欠席。

2月14日の大雪には法事の帰省途中に遭遇、往路は19時間、帰路は静岡SAに足止めされ45時間、なんとか我が家にたどり着くと、なんと車庫がべっしょんこ、まさに踏んだり蹴ったりでした。あちらこちらで郵便やメール便も大幅遅れの状態に途方に暮れ、先輩方におんぶに抱っこ状態でした。

そんな中で会員の方々からは、様々な記事を投稿していただき、ようやく会報発行にこぎつけることができました。編集者一同大変喜んでます。感謝、感激!

東京支部も会員の高年齢化が進んで久しく、若い人にも輪を広げていきたいと思っています。お知り合いの卒業生へのお声かけをよろしくお願いします。
(事務局: 山寄)

編集スタッフ

山寄春樹 TEL・Fax 0463-58-4295

稲井清子 (旧姓/真造) TEL・Fax 0467-58-3492

木村允彦 TEL・Fax 0487-86-3514

齋藤文子 (旧姓/阪本) TEL・Fax 045-383-8703